

令和7年3月10日

五戸町議会第10回定例会 一般質問通告一覧表

通告 順位	質問 方式	質 問 者	質 問 事 項	質 問 の 要 旨
1	一 問 一 答	高 奥 浩 明	1. 神奈川県鎌倉市との災害発生時の相互応援に関する協定について	令和7年1月24日に神奈川県鎌倉市と災害発生時の相互応援に関する協定が締結された。 災害発生時に同時に被災する可能性が極めて低く、また歴史的にも関わりのある鎌倉市と協定を締結したことは非常に意義のあることだと感じている。 については、鎌倉市などの遠方の市町村との協定について伺う。 (1) 締結に至った経緯と災害発生時の相互応援の具体的施策について。 (2) 現在締結に向けて進めているその他の協定はあるか。鎌倉市及びその他市町村とのものも含めて伺いたい。 (3) 災害発生時の相互応援を円滑に進めるためにも、平時のつながりが大切であると考えているが、いかがか。
			2. 学生が勉強できる場について	受験シーズンとなり、図書館で勉強している学生が増えてきた。現在町内には学生が勉強に使える場として、図書館の閲覧室、公民館のロビーなどが提供されている。 公共施設を活用していただけることはなによりだが、使い勝手について意見を聞くこともある。 については、学生が勉強できる場について伺う。

通告 順位	質問 方式	質 問 者	質 問 事 項	質 問 の 要 旨
				(1) 図書館・公民館の使い勝手（時間帯、利用者からの評価など）についてどのように考えているか。 (2) より使い勝手を良くするための施策についてどのように考えているか。
			3. 町内のインフラ点検・整備状況について	1月28日に埼玉県八潮市において、下水管の腐食による道路の陥没事故が発生し、八潮市民のみならず120万人の埼玉県民の生活に影響を与えた。 また、自然界では分解されにくく、健康に悪影響を与える可能性が指摘されている、有機フッ素化合物（PFAS）の記事について目にする機会が増えてきた。 一方、来年令和8年には、青の煌めきあおもり国スポが開催されることに伴い、会場となるひばり野公園周辺の整備が必要になる。 については五戸町のインフラ点検・整備状況について伺う。 (1) 町内の上下水道において、配管の腐食・劣化等の可能性がある配管はあるのか。 (2) 五戸町の水道水及び井戸水においてPFASの検査は行われているか。 (3) 国スポ会場周辺の道路・側溝保全、樹木保全、除草等の計画はいかがか。

通告 順位	質問 方式	質 問 者	質 問 事 項	質 問 の 要 旨
2	一 問 一 答	鈴木 隆 也	1. 野生鳥獣被害防止 対策について	野生鳥獣を取り巻く様々な環境の変化により、全国的に野生鳥獣による農作物への被害や人的被害の報告が増加していることは周知の事実である。五戸町においても人的被害はないものの農作物への被害は、ながいもや稲作などを中心に拡大傾向にあると思っている。 私はこれまでの一般質問を通して、野生鳥獣による農作物への被害防止対策は、まずは自分の畑は自分で守るという自助の意識、次に地域の畑は地域で守るという共助の意識、最後に行政がそれらを包括的に支援する公助の意識、これらの意識の醸成が重要であることを訴えてきた。 新年度を迎えるに当たり、野生鳥獣被害防止対策について次の3点を伺う。 (1) 継続して取り組む主な事業と、新たにに取り組む主な事業は。 (2) 自助、共助、公助の意識の醸成のための具体的な取組は。 (3) 公助について、事業を展開するに当たり、野生鳥獣による被害を受けた方々に丁寧に耳を傾け、コミュニケーションを図り行動に移すことが、非常に大切になってくると考える。御所見を伺う。

通告 順位	質問 方式	質 問 者	質 問 事 項	質 問 の 要 旨
			2. 児童の放課後の活動支援について	上市川小学校では先生方の働き方改革のため、令和7年度から、4～6年生（3年生も含む曜日もある）の最後の授業である6校時を現行より25分早め、平日各曜日とも15時15分に終了し下校させるとのことである。他校においても下校時間を早める考えや取組があると聞いている。 このことは先生方の働き方改革を推進するためには避けて通ることのできない、しかるべき取組であるが、同時に、放課後の時間が増える子どもたちの活動を支援する取組を整備しなければならないと考える。 児童の放課後の活動支援について、次の3点を伺う。 (1) 徒歩で下校しなければならない子どもたちの保護者から、犯罪や事故、また、近年目撃情報が頻発するクマなどの野生鳥獣から子どもたちを守るため、路線バスやコミュニティバスを利用させたいが、生活の実態に合致していないので改善を求める声を多く聞く。それらの声はバスの運行に十分反映されるべきであるが、実態はどうか。 (2) スポーツ振興公社が実施しているスポーツクラブについて、送迎バスの運行方法を改善してもらいたいという声を聞く。例えば、上市川小学区の場合、迎いのバスが上市川小学校を17時頃出発するが、参加者の最寄りのバス停などを巡回して迎えてもらえないかなどである。改善は可能か。

通告 順位	質問 方式	質 問 者	質 問 事 項	質 問 の 要 旨
				(3) 上市川小学校などでは週に 1 回、「放課後子ども教室」が開催されている。講師を中心に、地域のボランティアの方々が手伝い、参加する子どもたちに様々な運動や工作に取り組んでもらう活動である。 子どもたちは学校の授業と違い、自由度が高く遊び感覚で取り組めるので、本事業に満足する声を多く聞く。また、地域の老若男女がボランティアに参加されており、地域のコミュニティを育む場所にもなっている。 これらのことから、本事業はさらに実施日数を増やすなど推進すべきと考える。本事業の概要と新年度の取組は。

通告 順位	質問 方式	質 問 者	質 問 事 項	質 問 の 要 旨
3	一 問 一 答	豊 田 孝 夫	1. 道路使用における 占用料について	当町の歳入における道路占用料について、どのような状況によって発生するものかどうか。そしてそれらの関係者が異動になった場合にはどのような手続きが必要になるのか。更に面積等が変更になった場合にはどのようにすればよいのか。 については次の項目についてお答え願いたい。 (1) 占用料が発生するのはどのような場合か。また、占用目的と占用期間に制限はあるかどうか。 (2) 占用関係者が異動になった場合はどのような手続きが必要になるか。 (3) 占用料金はどのようにになっているか、また、納める方法は。更に料金の改定を実施することがあるかどうか。 (4) 現在占用件数と延べ面積、占用料の総額はいくらか、滞納は発生していないか。 (5) 占用利用者に対し、説明会等を開催した経緯はあるかどうか。

通告 順位	質問 方式	質 問 者	質 問 事 項	質 問 の 要 旨
			2. ふるさと納税における町の収入について	当町に対するふるさと納税は、町の収入源として貴重な役割を担っている。町外に住んでいる方々が五戸町の発展を祈り寄附をしてくださる、とても有り難い制度であることに違いはない。 また、寄附をすることにより寄附者本人が、その寄附金額の一部を所得税及び住民税から控除することができるとのこと。その他に寄附された自治体から何らかの物品を返礼品として受け取ることもでき、寄附者が寄附先を選ぶ基準の一つとなっている。各自治体が返礼品に力を入れているのも理解できる。 しかしながら、ふるさと納税を運用・運営するために種々のシステムを使用しなければならないのが現状である。 ついては次の項目についてお答え願いたい。 (1) ふるさと納税を運用・運営するためにどのようなシステムが必要か、また、それらの使用のために経費がどれだけ必要か。システム毎の費用を示していただきたい。 (2) 当町へのふるさと納税の件数と寄附金総額はいくらになるか、令和6年度の見込みでお答え願いたい。 (3) 当町のふるさと納税の返礼品として使用された物品の主なものは何か。また、その総額は。 (4) ふるさと納税の寄附金控除を受けるために必要な手続きは。また、令和5年度に当町で寄附金控除を受けた件数と金額は。更にそのことにより税収が減少した金額はいくらか。 (5) 当町に対してのふるさと納税を増加させる施策を何か考えているかどうか。

通告 順位	質問 方式	質 問 者	質 問 事 項	質 問 の 要 旨
4	一 問 一 答	佐々木喜克	1. 五戸町診療所開設 奨励金について	昨年新設された五戸町診療所開設奨励金制度について伺いたい。全国的に見ても珍しい制度となっているが、制度の認知度、周知活動など十分ではないと考えている。 (1) 五戸町診療所開設奨励金制度導入の背景、制度内容及び財源についてあらためて御説明願う。 (2) 近隣自治体における、当該類似制度の導入状況は。また、当町での周知・広報の状況及び相談件数・実績はどうか。 (3) 新規診療所が開業した場合、五戸総合病院は新規外来患者数の減少により更なる赤字拡大につながる可能性があると思像できる。五戸総合病院へ繰入金を充当している現状において、他の診療所開設への奨励金交付を行っていくことへの見解を伺いたい。

通告 順位	質問 方式	質 問 者	質 問 事 項	質 問 の 要 旨
			2. 合併70周年記念事業について	合併の経緯、詳細については、若宮町長の「新年のあいさつ」でも述べられていたが、令和7年は昭和の大合併から70年の節目となる。記念すべき節目の年に、遠方である鎌倉市との災害時における相互応援に関する協定の締結に至ることができた。3月は東日本大震災の発生月でもあり、去年は能登半島地震も発生している。今後も心配される大規模、広域災害を鑑みるに近隣地域以外との連携が重要となっており、本協定は非常に重要で意義のある締結だったのではないかと考えている。 (1) 1月24日に鎌倉市との調印式が行われたが、協定の目的、内容などあらためて御説明願う。 (2) 今後は、遠方だからこそ定期的に鎌倉市との地域間交流が必要と考えるが、交流計画等はあるのか。また、ない場合作成予定はあるのか伺いたい。 (3) 記念事業として、鎌倉市との災害時における相互応援に関する協定を締結したが、その他計画されている記念事業、イベントはあるのか伺いたい。 (4) 五戸町は3Sの町と呼ばれている。サッカー、坂、桜肉。もう一度、サッカーの町として活気ある町を目指したいと考える。そういった中、今回御縁を結ぶことができた鎌倉市はJリーグのチームとも協賛、連携協定を締結している。古くは鎌倉時代から、この五戸町の今昔の歴史を現代に語り継ぐためにも、また地域間交流として、五戸町も連携協定を締結しチームの合宿誘致を記念事業の一環としたいと思うがいかがか。